

1 施設概要

施設名	高知市城ノ平運動公園		施設所管課	スポーツ振興課
指定管理者名	公益財団法人高知市スポーツ振興事業団			
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日	公募・指名の別	指名	
設置目的	高知市の体育施設の一元的な管理運営と生涯スポーツの普及・振興を図る。			
業務内容	1. スポーツ施設の管理運営全般(施設利用許可含む) 2. 施設使用料の徴収事務 3. スポーツ振興に関する自主事業実施			
施設内容	・ソフトボール専用球場 ・多目的広場			
職員体制	常勤職員	0人	非常勤職員	0人
	パート職員	0人	アルバイト	0人
			契約社員	0人
			その他	0人
			合計	0人

※ 職員は現場施設に駐在せず、総合体育館事務室にて、予約受付・使用料徴収を行っている。

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	平成 27 年度 (1 年目)		平成 28 年度 (2 年目)		平成 29 年度 (3 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
施設利用者満足度(点)	-	-	3.55	3.41		
事業参加者数(人)	-	-	70	97		
施設利用者集(人)	-	-	16,100	16,423		
施設利用率(パーセント)	-	-	25.50 %	15.94 %		
施設使用料収支率(パーセント)	-	-	39.50 %	27.45 %		
目標値に対する達成状況について	施設利用者満足度:アンケート結果によるもので「看板・利用案内」、「設備・器具の手入れの行き届き具合」が課題である。 事業参加者数:前年から1事業増加に伴う。 施設利用者数:高知県小学生野球連盟の利用増が要因。					

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)
	利用者数	13,962 人	16,423 人
利用者数:対前年度比	88.8 %	117.6 %	0.0 %
開館日数	360 日	359 日	
利用率			
ソフトボール専用球場	9.47 %	9.69 %	
多目的広場	20.88 %	22.20 %	
利用状況についての評価	①利用者数増加の要因として高知県小学生野球連盟の利用増が大きい(1件当たりの利用者数が大きいため)。 ②利用率も前年度から微増であり、商業高校サッカー部やアスルクラロ高知など固定的に利用して下さる方が増えている。		

※ 利用率の算定方法: 利用率=使用数÷使用可能数

実際の使用数(使用時間)を使用可能数(1日の使用可能時間×日数)で除した数が利用率となる。

※ H26年度実績 利用者数:15,728人, 開館日数:359日

#### 4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

		平成 28 年度 ( 1 年目)	平成 29 年度 ( 2 年目)	平成 30 年度 ( 3 年目)
収入	指定管理料	5,310	6,000	
	利用料金収入	0	0	
	自主事業収入	0	1	
	その他収入	0	20	
	収入計	5,310	6,021	0
支出	人件費	0	0	
	光熱水費	1,939	2,137	
	保険料	191	190	
	委託料	2,250	2,450	
	修繕費	315	805	
	事業費	610	441	
	消費税及び地方消費税	14	14	
	その他の公課費	1	1	
	事業所税	0	0	
	その他	▲ 10	▲ 17	
	支出計	5,310	6,021	0
差引収支 (収入計-支出計)		0	0	0

※ 施設使用料等収入については、高知市の収入とし、利用料金制度は導入していない。

※ その他収入は、総合運動場及び東部総合運動場のその他収入に流用。

※ 支出その他における▲(マイナス)は、事業収支を全施設分一括で管理しており、5施設で按分、調整したことによるもの。

#### 5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

		平成 27 年度 ( 1 年目)	平成 28 年度 ( 2 年目)	平成 29 年度 ( 3 年目)
①	利用料金比率	0.0 %	0.0 %	- %
②	指定管理料比率	100.0 %	99.7 %	- %
③	人件費比率	0.0 %	0.0 %	- %
④	利用者1人当たりの 管理コスト	380 円	367 円	- 円
⑤	利用者1人当たりの 高知市負担コスト	380 円	365 円	- 円
⑥	外部委託費比率	%	40.5 %	%

※【運営状況分析指標の考え方】

指 標	指 標 の 説 明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

#### 6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

		平成 27 年度 ( 1 年目)	平成 28 年度 ( 2 年目)	平成 29 年度 ( 3 年目)
調査の 実施 内容	① 調査方法		団体登録更新アンケート (城ノ平、土佐山、針木合 同で実施)	
	② 調査期間		H28.6.15~H28.9.30	
	③ 配布数		44	
	④ 回収数		9	
	⑤ 回収率	- %	20.45 %	- %
調査結果			満足度評価目標値は 3.55であったが実績3.41 であった。改善に向けた 課題として「看板・利用 案内」、「設備・器具の 手入れの行き届き具合」 が挙げられる。	

#### 7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
H28年度は該当なし		

## 8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

### (1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3
7 使用料	使用料の徴収・減免等の手続は適正に行われているか	3	3	3
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3
9 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3
10 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3
11 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3
12 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	2
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	2
18 個人情報保護に関すること	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3
19 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3
<b>配点60点(20項目×3点)</b>		<b>小計</b>	<b>60</b>	<b>60</b>

#### 評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

### (2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	4	4	3
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	4	3	3
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	4	3	3
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	4	3	2.7
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	4	4	4
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	4	4	4
7 備品管理	備品管理は適切に行われているか	4	4	4
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	4	4	4
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	4	3	3
<b>配点45点(9項目×5点)</b>		<b>小計</b>	<b>36</b>	<b>30.7</b>

#### 評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

## (3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15

## 評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	概ね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

## 9 自己評価・一次評価結果

## (1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	36 点	80 %	32 点	71 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	111 点	93 %	107 点	89 %

## (2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
27	協定書・事業計画書他に定める管理運営は概ね実施できた。 指定管理者自主事業については、郊外の施設であり参加を募ることが難しい中ではあるが、前年度と同水準で実施し、地域の活性化、施設の有効活用、稼働率向上に貢献することができている。 現地への職員配置は前年度に引き続き行っていないが、職員による巡回・グラウンド整備等を実施し、サービス向上に貢献ができた。
28	協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できた。 事業開催数及び事業参加者数はともに増加し事業参加者満足度も向上した。 予防保全として高圧開閉器の更新を行った。 同時に安全のためリード線離隔修正も実施した。 応急救護のため救急箱を設置した。また、救急箱内にアイスバックを導入した。 施設の快適性、利便性のため、ソフトボール専用球場ホームランフェンスのシート張替を行った。 安全利用のため老朽化したサッカーゴールを溶接補強した。
29	

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
27	施設の利用者数は増加傾向にある。職員は常駐せず、地元体育会等と連携し、効率的な施設管理に努めている。自主事業については、事業を地域に定着させるため、昨年同様の教室を開催し、地域の小学校に教室開催チラシを配布し、利用促進を図った。今後は、更なる集客のためにも、自主事業の拡充や新たな広報活動を検討してもらいたい。
28	高知県小学生野球連盟の利用増加に伴い、施設の利用者数も増加した。施設管理については、地元体育会と連携し、効率的な運営に努めた。自主事業についても、教室数の増加を図り、近隣小学校へのチラシの配布も継続的に実施した。今後は、更なる集客や自主事業の拡充に向けた取組に努めてもらいたい。
29	

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	58 点	97 %	<b>A</b>
(2) サービスの質の確認	45 点	30.7 点	68 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	
合計	120 点	103.7 点	86 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で2点以下の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、またはそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	概ね事業計画書・仕様書に沿った適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2) 総評

概ね適切な管理運営がなされていると考えます。昨年度の指摘事項でもある緊急時対応マニュアルの早期策定とともに、管理者が常駐しない施設であることから、利用者に対する周知の実施をお願いします。

(3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総 評
27	A	一 点	自主事業の取組もみられ、概ね適正な管理運営がなされていると考えます。施設所管課と協議し、緊急時のマニュアル整備への対応を適切に行ってください。今後も利用者の増加につながる取組をお願いします。
28	A	103.7 点	概ね適切な管理運営がなされていると考えます。昨年度の指摘事項でもある緊急時対応マニュアルの早期策定とともに、管理者が常駐しない施設であることから、利用者に対する周知の実施をお願いします。
29		点	

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
城ノ平運動公園全体の施設長寿命化計画策定	平成30年度～	全体的な経年劣化の前に長寿命化計画必要。
城ノ平運動公園全体の用器具経年劣化	平成29年度～	状態等に応じて適宜補充又は更新。
路上駐車対策	平成29年度	掲示等の継続。大会主催者への注意喚起。
全体的な利用者数の減少	平成29年度～	利用者増に向けて研究調査。